

令和6年度草津市下水道事業報告書

(1) 概 況

イ 総括事項

本市の下水道事業においては、下水道サービスを将来にわたり継続し、様々な経営環境の変化に対応しつつ、安定した経営を続けていくため、令和4年度からスタートしました「草津市下水道事業第9期経営計画（経営戦略）」に基づき、計画的な事業実施に努めております。

本年度は昨年度に引き続き、汚水事業については、下水道施設の更新・耐震化を計画的に進めるとともに、適切な維持管理に努めました。また、雨水事業については、雨水幹線の整備を計画的に進めました。

今後も公営企業として、経営の透明性の確保に努めながら、将来にわたり安定した事業が継続し、健全な経営が行えるよう、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組んでいきます。

(処理および業務状況)

本年度の実績としましては、処理水量約1,836万 m^3 に対し、有収水量は約1,638万 m^3 で、有収率は89.2%となっています。前年度と比較して、処理水量が0.6%減、有収水量については2.7%減となり、有収率は2.0ポイント減となりました。本年度は降雨量が昨年度に比べ増加していることが有収率の減につながっているものと分析します。

不明水対策としましては、下水道施設のカメラ調査および啓発活動を実施しました。また、流域下水道圏域全体での取り組みが必要であることから、滋賀県も含めた不明水対策検討会において、不明水対策実施計画を策定し事業を進めているところであり、引き続き流域下水道圏域全体での不明水対策に努めます。

収益的収支の状況については、収益額が34億6,274万7,559円、費用額は32億4,223万7,767円で、差引2億2,050万9,792円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、全額減債積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額8億9,334万6,755円に対し、支出額は21億8,034万4,180円となり、翌年度に充当する繰越工事財源2,380万6,119円を除くと、差引13億1,080万3,544円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,619万5,916円、繰越工事資金90,512円、減債積立金2億343万773円ならびに損益勘定留保資金10億8,108万6,343円で補てんしました。

また、新草津川右岸第2排水区雨水整備工事他6件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により2億3,432万4千円を令和7年度に繰り越しました。

なお、汚水事業のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、4,923万3,229円となっています。

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減	増減比率
処 理 件 数	35,627 件	35,127 件	500 件	1.4 %
総 処 理 水 量	18,355,930 m^3	18,460,597 m^3	△ 104,667 m^3	△ 0.6 %
有 収 水 量	16,378,602 m^3	16,829,664 m^3	△ 451,062 m^3	△ 2.7 %
有 収 率	89.2 %	91.2 %	△ 2.0 %	—